

日鉄物流インドネシア 保税物流センター (PLB) 開業について

この度、PT. NIPPON STEEL LOGISTICS INDONESIA (日鉄物流インドネシア) は、既存の鋼材倉庫内に保税物流センター (PLB) 機能を追加し、2026年7月より営業を開始いたしました。



倉庫外観

1. 日鉄物流インドネシア社 概要

名称	PT. NIPPON STEEL LOGISTICS INDONESIA
所在地	インドネシア共和国 西ジャワ州ブカシ県 MM2100 工業団地内
倉庫面積	15,300 m ² (敷地面積 33,000 m ² うち PLB 面積=10,000 m ²)
主要設備	天井クレーン @25MT × 6基/コイルリフター/フォークリフト
倉庫収容能力	60,000MT (coil ベース)

2. 保税物流センター (PLB) 開設の経緯・背景

インドネシアでは、輸入枠の設定や SNI 規格の取得など、輸入品に関する各種規制が設けられており、輸入手続きが長期化する傾向にあります。現状、鋼材の取り扱いに特化した PLB は限られており、保管場所によっては品質上の問題や、港湾での貨物滞留による保管料などの追加費用が発生している状況です。こうした状況を背景に、輸入手続きが完了するまでの間、貨物を保管できる保税倉庫への需要が高まっています。

3. 当社が提供する価値

当社は、2014年より鋼材特化型の倉庫として高品質な鋼材物流サービスを提供してまいりました。天井クレーンなど各種設備の整備に加え、在庫管理システムを導入し、お客様に安心してご利用いただける体制を構築しています。

当社 PLB は、日系企業をはじめ多くの製造業が集積する西ジャワ州に位置しています。サプライヤー近隣の当社 PLB をご活用いただくことで、輸送時間の短縮に加え、港湾における滞留貨物の削減による安定的な供給体制の構築およびトータルコストの低減に寄与します。また、現在インドネシア当局が取り組むタンジュンプリオク港の混雑緩和にも貢献します。

今後も、当社は PLB を通じ、お客様の輸出入物流を含めたサプライチェーンの安定化と持続的な事業発展を支援してまいります。